

高原の夜空を焦がす大輪の花火

フェスティバル・ディア・マスミズ開催

7月28日、榊水高原の夏のお祭り「フェスティバル・ディア・マスミズ」が開かれ、多くの人でにぎわいました。

午後5時から、祭りの開幕を上げる地蔵尊祭



地蔵尊祭 元禄9年(1696)の大干ばつで亡くなった人々を慰めるため、美作国の宗真という法印が、長い年月をかけて浄財を集め、享保5年(1720)に石の地蔵を刻み、隔夜48日間餓死者の供養を行ったというのがこの地蔵祭りの始まり。



踊りを楽しみました

がはじまり、参列した地元住民が焼香し、地蔵供養を行いました。

午後7時から、毎年恒例の盆踊り大会がスタート。会場となった榊水駐車場には多くの人がつめかけ、たこ焼きやかき氷などの屋台が立ち並び祭りを楽しんでいました。



地域の同好会が踊りを披露



榊水展望台から見た花火

盆踊り大会のあとは、祭りのメインとも言える花火大会。今年からは、榊水展望台からの花火鑑賞が可能になり、夜景をバックにした名物花火を見る事ができるようになりました。今回は、あいにく霧の影響で絶好の条件とはいきませんでした。が、花火が打ち上がる会場がこちらから歓声が上がり、観客は高原の夜空を彩る大輪の花火に見入っていました。



多くの人で賑う会場

今年も、昨年指定管理者制度が導入されたこともあり、伯耆町観光協会と町、株式会社宮崎が大会の企画、運営などを行いました。



まちのわだい

日 日 日



夜空に響く 太鼓と花火

8月15日、岸本中学校グラウンドを会場に第44回きしもと豊年盆踊り花火大会が開催されました。この日は、太鼓の演奏や踊り、小学生による銭太鼓、豪華商品が当たるお楽しみ抽選会、打ち上げ花火が行われ、多くの人でにぎわいました。

当日は、岸本中学校の校門から会場まで綺麗に飾り付けられた提灯が来場者を出迎え、盆踊りの会場となったグラウンドには、たくさんのお客が立ちならび祭りの雰囲気を楽しんでいました。

「ちびっこ踊り」では、浴衣姿の園児たちがポケモン音頭を元気よく踊りました。



チビッコ踊り

つづいては、八郷小学校の5年生と6年生の児童がやぐらに上がり銭太鼓を披露しました。児童の熱演に集まった観客から大きな拍手が送られました。



岸本風神太鼓メンバーによる和太鼓



岸本音頭を楽しむ参加者



八郷小学校児童の銭太鼓

地域の事業所・団体が、岸本中学校グラウンドに組まれたやぐらを中心に輪をつくり、岸本音頭踊りを踊りました。各々その浴衣やハッピーなどを着て踊る参加者の楽しそうな姿は、観客の目を



踊りを眺める観客